

令和4年度事務事業評価(事後評価)実施事業一覧

必要性・効率性・公平性

・すべての項目に該当する場合は、「A」(見直し余地はない)
 ・1つでも該当しない項目があれば、「B」(見直し余地がある)

○必要性	①町が実・することが妥当である ②施策(上位の目的)に有効に結びついている ③社会・経済状況の変化に対応している
○効率性	①最も適切な手法である ②運営方法は、経済性・効率性の向上がられている ③施策を達成するために目的や対象を見直す必要はない ④コスト(職員数や・)に見合った活動状況である ⑤有利な財源を活用している ⑥他事業との重複や統廃合の余地はない
○公平性	①行政サービスの対象に問題はない ②適正な受益者負担を求めている

方向性の区分

拡大	事業目的の妥当性が認められ、一定の成果があがっており、今後も事業の拡大・重点化を期すべきもの
継続	事業の目的から見て成果が上がっており、又、事業の実・手法等特に問題がないため、現状どおりの事業継続が妥当であるもの
見直し	事業実・手法の変更などにより、さらに成果の向上をめざすべきと判断されたもの(必要性・効率性・公平性で1つでも「B」があれば、方向性は「見直し」とする。「縮小」のための見直しは、「縮小」とする)
縮小	事業目的の妥当性は認められ、一定の成果は上がっているが、サービスの供給が過大になっており、適正化を必要とする場合、事業の方向性としては良いが、コスト削減が必要なもの。
将来廃止	事業目的そのものの意義がかなり低下しているものや、事業目的から見て成果がほとんど上がっていないものなどで、事業の廃止が妥当であると判断されるもの(廃止年度を明確にする)
廃止	次年度より直ちに廃止すべきもの
完了	事業の実・目的や計画期間が明確であり、目的を達成したことに伴い、事業を終息させるもので、政策的な意思決定や判断の入る余地がほとんどないもの

No.	担当	事業別予算名称	事務事業名称	ページ	2次評価(政策調整会議)					見直しの具体的な方策 及び 指示事項	次回評価時期	備考
					評価年度	必要性	効率性	公平性	方向性			
1	教育振興課	学校教育班	外国語教育推進費	英語指導助手配置事業	R4	A	A	A	継続	新学習指導要領による外国語指導はもとより、社会のグローバル化が進む中において、今後一層求められる事業であり継続とする。将来的には、採用時に、地域おこし協力隊や企業人などの活用も視野に入れて検討を行うこと。	R7	
2	教育振興課	学校教育班	教育総務費一般管理費	学力向上対策事業(町学校教育振興会負担)	R4	A	B	A	見直し	コロナ禍において教職員の研修方法も大きく変わってきているが、研修自体は必要である。方法や経費の使い方は検討が必要であり、それにより金額も検討すること。	R7	負担・補助
3	教育振興課	学校教育班	小学校学習活動費・中学校学習活動費	小・中学校学習活動事業	R4	A	A	A	継続	学習活動に伴うバス運転業務委託・バスの借上げは、必要不可欠であることから継続とする。多様な学習活動の推進となるよう、効率的な運行に努めること。	R7	
4	教育振興課	学校教育班	上富良野高等学校振興対策費	上富良野高等学校振興対策事業(上富良野高校教育振興会補助)	R4	A	B	A	見直し	特色ある学校づくりのために増やした事業が、事業の目的とあっているかの検証をすること。積極的に地域探究活動が進められているが、教育委員会においても積極的な関与をおこない、特色ある学校づくりにつながる支援策とすること。	R7	負担・補助
5	教育振興課	社会教育班	PTA活動費	PTA活動事業(町PTA連合会活動補助)	R4	A	A	A	継続	コロナ禍において、活動が制限され今後の活動内容は考えていく必要があるが、町内小中高の保護者の連携、情報交換の場は、地域の家庭力の向上に必要と考えられ、他地域のPTAとの交流は本町のPTA活動の推進に寄与するものと考えことから継続とする。	R7	負担・補助
6	教育振興課	社会教育班	公民館運営費	読書普及活動事業	R4	A	A	A	継続	コロナ禍により活動回数、参加人数減はあるものの、読書を推進する活動が多く確保されており、子どもが本に触れる機会を多く提供していることから、今後もその環境を作り、読書普及に向けて取り組みを推進していくため継続とする。	R7	
7	教育振興課	社会教育班	スポーツ振興費	青少年スポーツ大会選手報奨事業	R4	A	B	A	見直し	青少年の「がんばり」に応えるものであり、激励と報奨を続けるが、引き続き支援対象とする大会の精査・検討を行うこと。	R7	
8	教育振興課	社会教育班	スポーツ振興費	スポーツ教室事業(スポーツ教室開催補助)	R4	B	B	A	見直し	事業主体と効率性について検討すること。	R7	負担・補助
9	教育振興課	社会教育班	スポーツ振興費	スポーツ指導者育成事業(スポーツ指導者養成補助)	R4	B	A	A	見直し	事業主体について検討すること。	R7	負担・補助
10	教育振興課	社会教育班	スポーツ振興費	スポーツ育成事業(全国大会出場に伴う人材育成派遣補助)	R4	A	A	A	継続	選手の「がんばり」に応えていくため継続とする。他自治体の実施状況を把握すること。	R7	負担・補助
11	教育振興課	社会教育班	スポーツ振興費	町民スポーツ大会事業	R4	A	A	A	継続	スポーツ大会を開催することで地域住民が交流を深め、住民相互の連携を促進し、さらに他地域住民との交流にもつながっていることから継続とする。引き続き多くの町民が参加しやすくなるよう競技について実行員会と協調を行うこと。	R7	負担・補助
12	教育振興課	社会教育班	スポーツ振興費	スポーツ団体育成事業(町体育協会活動補助、町スポーツ少年団活動補助、女性スポーツ協議会活動補助)	R4	A	B	A	見直し	団体がどのような機能が必要なのか、取り組みと体制の検証、適正な活動を継続していただけるよう検討すること。	R7	負担・補助
13	教育振興課	社会教育班	郷土館費一般管理費	郷土館・開拓記念館事業	R4	A	A	A	拡大	十勝岳ジオパークの拠点施設、泥流地帯の展示施設として、今後、施設等の整備を推進し、開拓の歴史を発信していくことから、事業拡大とする。	R7	
14	教育振興課	社会教育班	上富良野町青少年国内外交流派遣事業	青少年国内外交流派遣事業	R4	A	A	A	継続	青少年における三重県津市との交流は、本町と津市との歴史を学ぶ良い機会になっており、国外交流は、グローバルな人材育成や、異文化に触れる良い機会となっていることから、事業継続とする。	R7	負担・補助
15	総務課	総務班	予約型乗合タクシー運行	予約型乗合タクシー運行事業	R4	A	A	A	継続	交通弱者の通院や買い物のほか、様々な活動に対する移動を支援することで安心と生きがいのある暮らしづくりに寄与しており継続とする。利便性の向上と料金等についての新たな手法は引き続き検討が必要。	R7	
16	保健福祉課	健康推進班	がん検診予防費	がん検診事業(胃がん・大腸がん・子宮がん・乳がん・結核肺がん検診)	R4	A	A	A	継続	コロナの影響で受診率が低迷は理解できるが、検診受診率、精密検査受診率の向上のための取り組み手法は、引き続き検討が必要。	R7	
17	保健福祉課	健康推進班	栄養指導費	食生活改善推進事業	R4	A	B	A	完了	食生活改善推進委員は平成31年度をもって廃止、食の栄養指導(食生活改善推進)については保健事業の中で取り組みを継続しており、引き続き栄養士による栄養指導は行っていく。次回評価は行わない。	—	
18	保健福祉課	高齢者支援班	上乘せサービス費	上乘せサービス事業	R4	A	A	A	継続	利用実績がない状況ではあるが、介護者の緊急入院などの場合に対応するため、在宅生活を支える必要な事業であることから継続。次回評価は行わない。	—	負担・補助

令和4年度事務事業評価(事後評価)実施事業一覧

必要性・効率性・公平性

- ・すべての項目に該当する場合は、「A」(見直し余地はない)
- ・1つでも該当しない項目があれば、「B」(見直し余地がある)

○必要性	①町が実・することが妥当である ②施策(上位の目的)に有効に結びついている ③社会・経済状況の変化に対応している
○効率性	①最も適切な手法である ②運営方法は、経済性・効率性の向上がられている ③施策を達成するために目的や対象を見直す必要はない ④コスト(職員数や・)に見合った活動状況である ⑤有利な財源を活用している ⑥他事業との重複や統廃合の余地はない
○公平性	①行政サービスの対象に問題はない ②適正な受益者負担を求めている

方向性の区分

拡大	事業目的の妥当性が認められ、一定の成果があがっており、今後も事業の拡大・重点化を期すべきもの
継続	事業の目的から見て成果が上がっており、又、事業の実・手法等特に問題がないため、現状どおりの事業継続が妥当であるもの
見直し	事業実・手法の変更などにより、さらに成果の向上をめざすべきと判断されたもの(必要性・効率性・公平性で1つでも「B」があれば、方向性は「見直し」とする。「縮小」のための見直しは、「縮小」とする)
縮小	事業目的の妥当性は認められ、一定の成果は上がっているが、サービスの供給が過大になっており、適正化を必要とする場合か、事業の方向性としては良いが、コスト削減が必要なもの。
将来廃止	事業目的そのものの意義がかなり低下しているものや、事業目的から見て成果がほとんど上がっていないものなどで、事業の廃止が妥当であると判断されるもの(廃止年度を明確にする)
廃止	次年度より直ちに廃止すべきもの
完了	事業の実・目的や計画期間が明確であり、目的を達成したことに伴い、事業を終息させるもので、政策的な意思決定や判断の入る余地がほとんどないもの

No.	担当	事業別予算名称	事務事業名称	ページ	2次評価(政策調整会議)				見直しの具体的な方策 及び 指示事項	次回評価時期	備考	
					評価年度	必要性	効率性	公平性				方向性
19	保健福祉課	福祉対策班	障害福祉費一般管理費 障害福祉事業 (腎臓機能障害者通院交通費補助、特定疾患患者通院交通費補助、身体障害者福祉協会補助)		R4	A	B	A	見直し	腎臓機能障害者及び特定疾患患者に対する交通費の補助については、町外通院を余儀なくされ、通院経費負担が大きいことから、その負担を考慮すると補助策は必要であり継続とするが、補助率の妥当性については検証をしていくこと。身体障害者福祉協会については、組織のありかた、活動実態の把握を行うこと。	R7	負担・補助
20	保健福祉課	福祉対策班	障害福祉費一般管理費 障害福祉サービス事業所支援事業		R4	A	A	A	継続	町内の障害福祉サービス事業所を増加させる施策として、初期投資の支援は有効であり、地域福祉の増進のため継続とする。	R7	負担・補助
21	保健福祉課	福祉対策班	保健福祉総合センター管理運営費 保健福祉センター運動指導事業		R4	A	A	A	継続	運動療法による中高年の生活習慣病や虚弱高齢者等の介護予防が図られており、医療費・介護給付費等の抑制に一定の効果が表れているため継続とする。利用料無料の期間を設け、新規の町民利用を促しているものの、利用者の固定化は課題。	R7	
22	保健福祉課	健康推進班	健康増進費 (成人期)歯周疾患検診事業		R4	A	A	A	継続	歯周疾患の予防は、動脈硬化や糖尿病を予防するうえで重要であり、国においても次年度歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の公表し、疾病予防や医療費抑制の観点から歯科保健対策の推進が重要視されており継続とする。	R7	
23	保健福祉課	福祉対策班	成年後見制度利用促進助成事業 成年後見制度利用促進助成事業		R4	A	A	A	継続	高齢化や障害者(身体・知的・精神)の自立支援が進み、財産管理や契約行為など自ら判断出来ない高齢者・障害者が増加しており、成年後見制度の必要性が高まっている。成年後見制度を十分に普及啓発し、相談対応や支援業務の利用促進が必要であるため継続とする。	R7	負担・補助
24	農業振興課	農業振興班	収益向上作物生産振興事業 収益向上作物導入支援事業補助事業		R4	A	A	A	継続	本町の特徴的な農業を維持しながら、農業所得の向上・底上げを図り、上富良野農業の持続と発展に必要な支援策であり継続とする。今後の取り組み強化策については検討が必要。	R7	負担・補助
25	農業振興課	農業振興班	道営経営体育成基盤整備 道営事業促進期成会事業 (道営事業促進期成会補助)		R4	A	A	A	継続	事業を円滑に進めるためには、整備地区内・受益者間の意思疎通、目的意識の共有、相互理解が不可欠なことから、それらを醸成する機会として促進期成会の果たす役割は大きく継続とする。次回評価は行わない。	—	負担・補助
26	建設水道課	建築施設班	建設総務費 上富良野町住宅リフォーム助成事業		R4	A	A	A	継続	住宅の省エネ化、バリアフリー化は毎年多くの利用があり、ゼロカーボン宣言をした中で省エネルギー対策としても一定の成果を上げていることから継続とする。空き家解体費用の助成制度については、事前評価で検討する。	R7	負担・補助
27	企画商工観光課	商工観光班	かみふらの十勝岳観光協会運営費 観光振興事業 (かみふらの十勝岳観光協会運営費補助)		R4	A	B	A	見直し	コロナ禍の影響は大きく受けているものの、本町の観光振興にあたり、観光客の誘致・宣伝の他、観光振興計画に基づくプロジェクトを進めるうえで観光協会の果たす役割は大きい継続とするが、イベント全般・事務局体制・収益事業・集客と町への経済効果については検討・見直しをすること。	R7	負担・補助
28	企画商工観光課	商工観光班	商工業後継者対策費 商工業者持続化補助事業		R4	A	A	A	継続	現在はコロナ対策等の他の補助金により、事業採択件数減となっているが、商工業者の活力を維持するために必要であることから継続とする。	R7	負担・補助
29	企画商工観光課	商工観光班	商工振興費一般管理費 産業賑わい協議会負担事業		R4	A	B	A	見直し	地域産業の連携は、地域振興の推進において重要であり、引き続き賑わい創出にかかる事業展開として支援していくことは必要であるが、多様な事業が入っており、事業整理を検討すること。	R7	負担・補助
30	企画商工観光課	商工観光班	観光費一般管理費 地域おこし協力隊(観光推進員)事業		R4	A	A	A	継続	当初のインバウンド対策からコロナ禍により、ロケツーリズム推進への変更はあったものの、引き続き上富良野の魅力を外に発信するため継続とする。前回評価は、地域おこし協力隊雇用に関する事前評価であったため、次回評価は行わない。	—	
31	町民生活課	自治推進班	協働のまちづくり推進費 協働のまちづくり推進事業		R4	A	A	A	継続	住民会・町内会、団体やグループ活動として、町民が様々な活動を自主的かつ活発に行うために有効な事業であるため、継続とする。様々な団体が本事業を活用していただけるよう検討は必要。	R7	
32	町民生活課	自治推進班	交流促進費 国内交流事業		R4	A	B	A	見直し	ふるさと会については、会員の高齢化に加え、新規会員の獲得に苦慮している状況にあり、活動手法について検討・見直しを行うこと。	R7	
33	町民生活課	総合窓口班	特定健康診査等事業費 特定健康診査等事業		R4	A	A	A	継続	当事業は住民の健康増進に寄与するものであることから、事業継続とする。引き続き、目標達成に向けた健診事業を行い、医療費の抑制にもつなげるよう努めること。	R7	
34	町民生活課	総合窓口班	乳幼児医療給付費 乳幼児医療扶助(町単独事業分)		R4	A	A	A	完了	令和4年度から、入院、通院の対象範囲の拡大、所得制限を緩和し、中学生までの無償化を実施している。事業完了とし、乳幼児医療扶助としては次回評価は行わない。	—	
35	町民生活課	生活環境班	生活安全対策費 省エネ型生活灯		R4	A	A	A	継続	LED化更新は、ほぼ完了し、省エネルギー化、CO ₂ の削減、電気料補助削減の成果が認められる。交通安全や防犯面等、地域の安全安心な暮らし維持のため、事業継続とする。今後、技術の向上により大型の設備が安価になった場合、改めて拡充の検討や灯数削減の可能性について検討を行う必要がある。	R7	負担・補助